

土砂災害警戒区域等の3Dマップ表示の運用開始について

1 要旨・目的

土砂災害の恐れのある箇所やその範囲について、より感覚的に把握・理解することが可能となる、「土砂災害警戒区域等の3Dマップ化」について、県ホームページ「土砂災害ポータルひろしま」において、運用を開始した。

なお、本件は、「広島デジフラ構想」の一環として取り組むものである。

2 現状・背景

土砂災害警戒区域等は、県ホームページ等において、平面地図で表示しているが、斜面の高さや谷の形状など、具体的な地形のイメージが伝わりづらい状況となっている。

このため、地形を三次元で表した3Dマップ上で土砂災害警戒区域を表示することにより、土砂災害の危険性に対する県民の認識向上を図る。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

土砂災害警戒区域等を3Dマップ上に表示したコンテンツを「土砂災害ポータルひろしま」に実装し、県民に対し広く周知する。

(3) スケジュール（運用開始日）

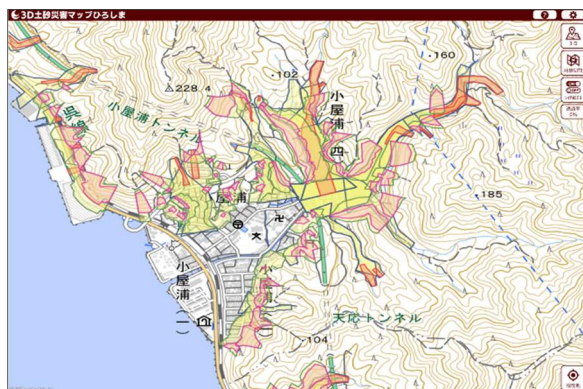
令和3年7月27日（火）

(4) 予算（国庫）

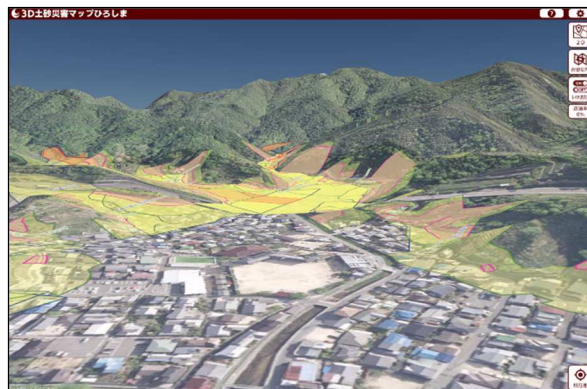
約11,700千円

4 その他

土砂災害ポータルひろしま <https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/Top.aspx>



(2D表示)



(3D表示)